

# 提 案 の 概 要

施設名： 名古屋市千種児童館

団体名： 名古屋市千種区社会福祉協議会

## 1 管理運営全般について

### ①施設管理運営の基本方針等

#### ■ 理 念

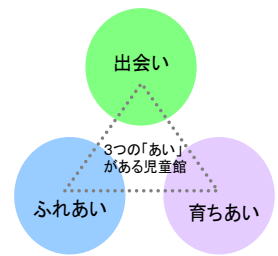
「出会い」「ふれあい」「そだちあい」のある児童館運営

#### ■ 基本方針

○ 「子ども」にとって自分が大切にされていると感じる

**児童館運営**

遊びを通して、自主性や社会性を育む支援を行います。



楽しく、安全で、居心地の良い居場所

○ 「子ども」が主体的に、自由に考え、行動できる児童館運営

「こどものまち」を中心に、子どもによる子どものための行事を行っていきます。

また、「こどものまち」をきっかけに発足した「おてつだいクラブ」をさらに発展させていきます。

○ 子育て世代を応援する児童館運営

母親支援に加え、父親が活躍できる行事を行います。

### ②管理運営体制（職員配置及び人材の確保・育成計画等）

#### ■ 職員配置

○ 常勤の「館長」「事務職員」「児童厚生員」「留守家庭児童クラブ支援員」を配置します。

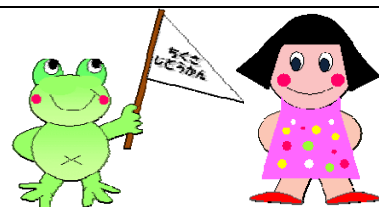
#### ■ 人材確保等

○ 市社協のスケールメリットを活かした人材を確保します。

広く人材を募集し、市民感覚や人権意識などを有し、福祉に精通した職員を、市社協が一括して採用し、児童館業務に精通した職員を配置します。

○ 児童のあそび、接遇、教養などの研修を実施していきます。

職種ごとの連絡会、各事業に必要な研修及び接遇等管理業務に関する研修を行っていきます。



千種児童館マスコットキャラクター  
かえるくん

千種児童館マスコットキャラクター  
ちくさちゃん

## 2 事業運営の実施計画について

### ① 子ども育成活動

- 季節に見合った行事を企画し、子どもの情操を育てます。  
「七夕」、「お正月遊び」、「おこしもの」等
- 子ども中心の「こどものまち」等、子ども実行委員会活動を強化します。
- おまつり等子どもがワクワクする行事を行います。  
「児童館まつり」や「やきいも大会」、「もちつき大会」等

### ② 子育て支援活動

- 親子でふれあい、楽しめる自由参加のクラブ行事を行います。  
「ひよこ0歳」、「ひよこ1歳」、「たのしいリトミック」や「みんなであそぼう」
- 子育ての悩みなど、保護者同士が互いに語り合える環境を作ります。  
各自由参加クラブや定員制クラブ等の講師の呼びかけにより、参加者同士が語り合える雰囲気をつくります。
- 専門の職員と話し合う機会を提供していきます。  
「育児相談」、「健康相談」や「体重・身長測定」などの企画を通じて、児童館職員や保健所職員と気軽に会話ができる機会を引き続き設けます。
- 子育て支援情報を積極的に発信します。  
チラシ・パンフレット、ホームページやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用し、子育て支援情報を積極的に発信します。

### ③ 地域福祉促進活動

- 地域の諸団体と連携し、行事へ積極的に参加していきます。  
区役所、保健所などこれまでの繋がりを活かし、互いに協力できるように努めます。
- 近隣地域の住民の方と連携し、行事への協力などお互いに努めます。  
主任児童委員、団地自治会、ボランティアグループなどこれまでの繋がりを活かし、互いに協力できるように努めます。
- ボランティアの育成に努め、活動を活発にしていきます。  
児童館ボランティアの活動を活発にし、後継者を育成していくとともに、鯉城会（高年大学OB）、生涯学習センター講座修了者ボランティア、おもちゃ図書館ボランティアやおもちゃ病院ボランティアとの活動を活発にしていきます。

### ④ 留守家庭児童健全育成事業

- クラブ参加児童が、安心して楽しく活動できるように努めます。  
季節の行事やお出かけなど楽しめる企画を行っていきます。
- 学校との連絡調整に努め、児童ひとり一人を把握していきます。  
近隣の小学校（高見、上野及び田代）と連絡調整に努めます。
- 保護者の皆さんと協同して、より良いクラブにしていきます。  
学校との連絡調整を補完するためにも、各家庭との連絡を密にし、その日の児童の状況を把握することにより、保護者との信頼を得ていきます。

### 3 収支計画について

#### ① 管理運営にかかる費用等

##### ■ 人件費

- 児童館の設置目的の達成及び安心で安全かつ安定的な施設運営を図るためには、人材の定着によるノウハウの蓄積、継続的な育成が欠かせません。このような視点から、豊富な実務経験や必要な資格を持つ専門職を安定的に確保するのに必要な人件費について、限られた予算の中、経営の効率性を図ることで、前回の申請時と同額を積算しています。

##### ■ 物件費

- 経営の効率性を確保しつつ、安心・安全で質の高いサービスを提供するのに必要な額を積算しています。

##### ■ 収支予算

- これまで行ってきた事業活動を維持しながら、新たに子育て支援事業を増やすなど事業面の強化にも重点をおくとともに、他区の社会福祉協議会と合同で一体的な子ども育成活動の取り組みを計画し、予算に反映しております。
- 中高生の居場所づくり事業及び中学生の学習支援事業については、管理運営を強化した計画をたてております。
- その他、現状も経費節減に努めていますが、今後も引き続き、サービスの質を落とさない範囲で経費の執行に努めていきます。

(平成 28 年度収支予算／単位：千円)

区 分		金額(千円)	内 訳
人件費		19,900	職員人件費、法定福利費等
物件費	管理費	4,732	消耗品費、水道光熱費、消防設備・特殊建築物点検
	事業費	4,512	謝金、消耗品費、備品購入費、中高生の居場所づくり事業スタッフ賃金等
留守家庭児童クラブ		3,745	留守家庭児童クラブ支援員賃金等
中学生の学習支援事業		1,860	学習コーディネーター、学習サポーター賃金等
小規模修繕費		684	施設補修
児童館ボランティア派遣費		87	児童館ボランティア派遣費
合 計		35,520	